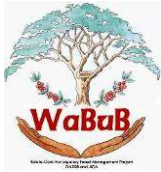


# WaBuB PFM News

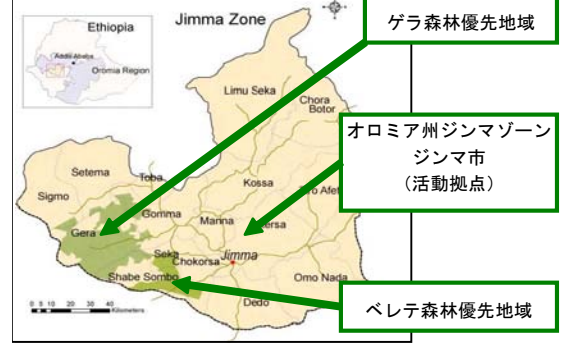
~Respect Local People's Knowledge for Sustainable Forest Management~



JICA 技術協力プロジェクト

エチオピア ベレテ・ゲラ参加型森林管理計画フェーズ2

2007年5月15日発行 (第6号)



## 雨期に入りました…

4月に入ってからジンマでは毎晩のように雨が降り、停電も多くなり、ろうそくが欠かせなくなってきました。これから10月頃までは、毎月の降水量が200ミリ近くになります。ちなみに年間降水量は約1500ミリで、東アフリカの諸国の中では、かなり多い方だと思います。また、標高が1600mと比較的高地に位置することもあり、平均気温は年間を通して20℃前後と過ごしやすい気候です。雨期は道路の状態が悪く、森林優先地域内へのアクセスが難しくなりますので、この間に WaBuB 普及のための準備をしっかり整えておく必要があります。その1つとして、第4号でご紹介した普及教材を作成しており、ほぼ完成に至りました。第6号では、教材の1つである「WaBuB フィールド・マニュアル」の内容を抜粋しながら、森林管理組合(WaBuB)を結成していく過程をご紹介しますと思います。

## ベレテ・ゲラ NOW ~WaBuBを始めよう! ①~

WaBuB を組織し、森林管理契約を締結するまでには、11のステップがあります(第4号参照)。その間、各村の村落開発普及員が主体となって集落の住民をリードし、かつ、関連する行政の承認を得ながら活動を進めていきます。エチオピアでは、以下のように行政単位が分化されています。森林管理契約は、WaBuB 代表者と郡農業・村落開発事務所長が調印し、州政府の承認を得てはじめて発効します。

### WaBuB の組織化に関わる行政単位

州(オロミア)	ベレテ・ゲラ森林優先地域を保有・管轄
ゾーン(ジンマ)	プロジェクト活動拠点
郡(ゲラ、シャベ・ソソボ)	森林官の配置
村(ベレテ・ゲラ森林内に約40ヶ村)	普及員の配置(各村に1-3名)
集落(各村に約3-6集落)	WaBuBの基本単位

今回は、まず最初のステップである対象となる村を選定し、各村内で WaBuB を組織化する集落を決定するまでの手順を、絵描きエリアス(第4号参照)のイラストを交えながらご紹介します。

### ステップ1: 対象村の決定

ベレテ・ゲラ森林優先地域内の全ての村で WaBuB の組織化を一齐に始められれば理想的ですが、予算や人員に限りがあるため、「コーヒーで生計を立てている村を重点的に取り込もう!」「いや、貴重な森林が残っているエリアから始めたらどうだろう?」等、その年に活動を行なう対象村をある程度絞り込む必要があります。郡の森林官が中心となり、その年の予算から対象村の数を決定し、普及員の配置数などを見て、どの村にするかどうかを決定します。その後、郡の行政官や州からの承認を得た上で、森林官と普及員が協力して年間の活動計画を作成します。



### ステップ2: 村のリーダーとの協議

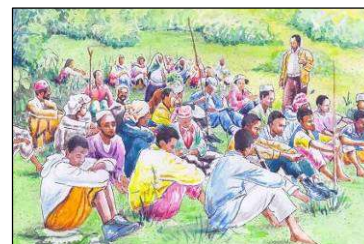
普及員が自分の担当する村のリーダー達に会い、WaBuB とは何か? その目的やメリット、義務などについて、普及教材やリーフレットを渡しながら説明します。また、村の中のどの1集落をその年の WaBuB 組織化の対象とするのか、基準を理解してもらった上で、リーダー達が集落の候補を話し合って選考します。

#### 集落の選考基準

1. 普及員の居住エリア
2. 普及員がアクセスしやすい
3. 森林が残されている
4. 居住者数が多い
5. 森林タイプ(天然、人工)

### ステップ3: 村民との会合

全村民を対象とした会合を開催し、普及員が PFM アプローチの概要や WaBuB について説明します。先のリーダー達との協議で候補に挙がった集落を本年度の WaBuB 組織化の対象



とすることについて、「どうしておいらの集落でやらないんだ!？」といった村人からの意見を集約し、村人との合意形成をはかり、集落を決定します。

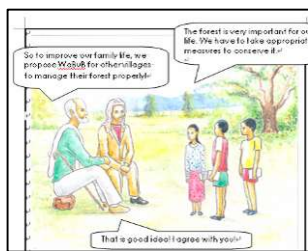
### ステップ4: 集落のリーダーとの協議

村民と合意した集落へ普及員が行き、まずはリーダー達に対し、「WaBuB は何なのか? 何を指すのか?」といった詳細な説明に加え、森林管理契約のサンプルなどを渡し、具体的なイメージを持ってもらいます。この後、集落の住民全員を対象とした会合を開き、いよいよ具体的に、WaBuB 結成への取り組みを進めていくことになります。(次号に続く)



WaBuB は、現地オロモ語で(地域住民により組織される)森林管理組合の略称、PFM(Participatory Forest Management)は参加型森林管理の略称です。よって、WaBuB PFM は、本プロジェクトが確立・普及を目指す WaBuB による参加型森林管理方法を意味します。

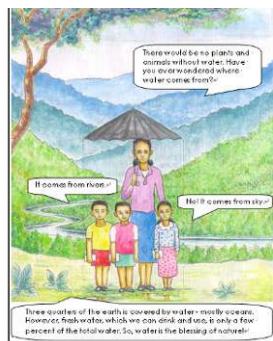
## WaBuB PFM イラスト冊子も完成しました！



WaBuB フィールド・マニュアルに加え、普及用のイラスト冊子もようやく完成しました。読み書きがうまくできない人々にも森の大切さやWaBuBの目的などについて理解してもらえよう、挿し絵を豊富に使って解説しています。

ストーリーは、村の長老アツバディガ氏の疑問に対し、普及員であるジャマール君や森林官のアステル姉さんがわかりやすく答え、最後はアステル姉さんが村の子供達と一緒に、人と自然のつながりについて考えます。

このイラスト冊子は現地オロミア語版も作成しており、WaBuBの普及教材にとどまらず、やがてはゲラ、シャベ・ソソボ郡内の小学校で、子供達への環境教育に使用してもらえよう働きかけると共に、より理解しやすいものになるよう、適時、改定していく予定です。



## ジンマの絵描き・エリアスの変身！

それは、4月17日のことだった。絵描きエリアス(第4号参照)が、我々と握手を交わし、絵筆を置いて去っていった。この日がこんなにも早く来るとは、誰が予期できたであろうか？彼自身、何かしら戸惑っている様子だ。その心境は「ようやく開放されるぜ！」と安心しているのか、それとも「本当にもう来なくていいのか？」と寂しく感じているのか…。きっと、後者に間違いないはずだ！この約1ヶ月間、毎日8時にはオフィスに現れ、日が暮れるまで一心に描いていた。見事な変身振りだった…。

何が彼をここまで変えたのか？やはり金のためか？いやいや、彼自身、ここでの絵描きの仕事を通して、自信とやる気がみなぎってきたに違いない！これぞ技術協力が求める究極の目標、エンパワーメントだ！能力向上だ！その変身に至る貢献者は、何と言っても会計スタッフであるティデネクだ。3月からプロジェクトに加わったばかりで、いきなりエリアスの指導係(見張り)という大役を引き受けた。新人研修の山本職員が3月初めに去るまでは、来たり来なかったりと相変わらずのエリアスであったが、ティデネクが後を受けて小まめに指示を出すと、驚くほど従順だ。う～ん、何てわかりやすいんだ…。そりゃあ、憎らしい小僧に頼まれるよりは、かわいい姉ちゃんに「お願い♡」と言われた方がやる気もわくだろうな。きっかけはどうであれ、心を入れ替え、素晴らしい絵を描いてくれたエリアスに感謝です！




エリアスの世話役・ティデネク


## ベレテ・ゲラの有用樹種 Enset (*Ensete ventricosum*)

ベレテ・ゲラを含めエチオピア高地の農村地域の多くで、住居の周りに大きなバナナの木？が植えられているのが目に付きます。さぞかしエチオピアは、あの黄色くて美味しいバナナで溢れているんだろうな…と思わせる光景ですが、このほとんどはエチオピアで「エンセーテ」と称される植物で、俗に「ニセバナナ」とも呼ばれています。

物の本によると、我々が慣れ親しんでいる果物のバナナと「科」は同じ(*Musaceae*)ですが、その下の「属」が異なるようです。アフリカ東部および南部の主に高地(約1600m~2500m)に分布していますが、このエンセーテを農作物として栽培しているのは、エチオピア高地だけとされています。




住居を取り囲むエンセーテ



非常に太い根元部分

見かけは非常に大きな葉が目立ち、果物のバナナと何ら変わらないように見えますが、全体的にバナナより大きく、成長すると高さ10m程にまで達します。10cm程度の実をつけますが、それは食べられず、根元部の球茎(corm)と呼ばれる株のような部位を磨り潰し、そこから白いでん粉を採取します。そのでん粉を発酵させたものをコチョコと呼び、長期間の保存ができます。このコチョコが幾つかのエチオピア伝統食に使われますが、平たいパンのようにして食べるのが一般的のようです。

ベレテ・ゲラ森林優先地域の中には、コーヒーの収穫ではなく、エンセーテを大規模に栽培し、コチョコの収穫により主な現金収入を得ている集落も幾つかあります。こうしたエンセーテ農家にもWaBuBの一員になってもらい、周囲の森林を適切に管理してもらう必要があります。その際、インセンティブとして新たな農作物を取り入れた農業技術の改善を取り入れるべきなのか、それとも今のままのエンセーテ栽培を続けて環境教育のみで住民の参加を期待できるのか、地域の多様性や伝統に配慮して適切な方法を考えていかなければなりません。



市場で売られるコチョコ

**6月中旬までの主な活動予定:**  
 5/12: シャベ・ソソボ郡普及員を対象とした WaBuB 普及ワークショップ  
 5/15: ゲラ郡普及員を対象とした WaBuB 普及ワークショップ  
 5/中旬: 森林コーヒーの出荷経路(supply chain)に関わる評価調査  
 5/21: 萩原短期専門家(参加型森林管理・普及戦略)赴任  
 5/下旬: 短期専門家(農業・アグロフォレストリー技術普及)赴任